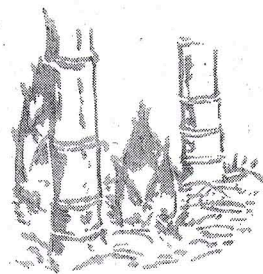


老報 12わうぜん

発行 富山県入善町役場
印刷 森下印刷所

No.157

昭和45年3月10日発行

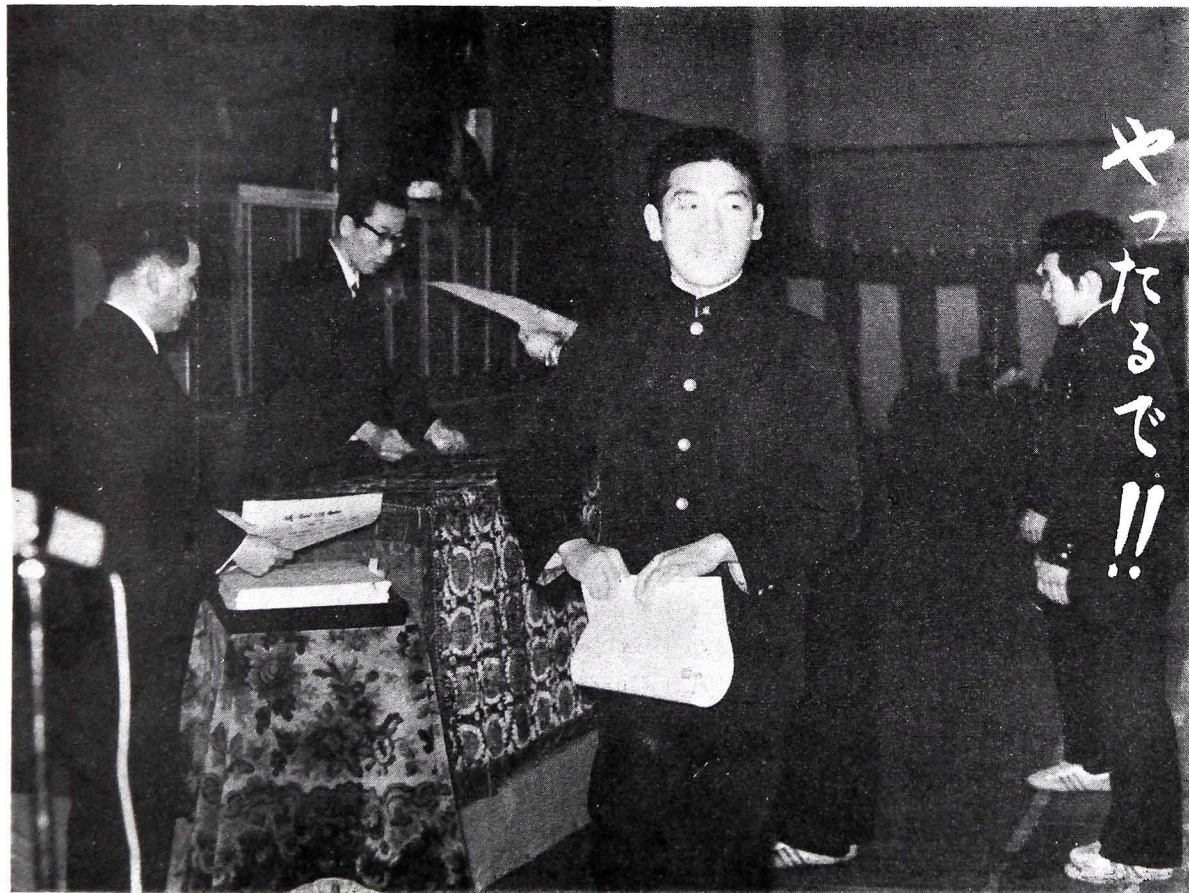


県立入善高校の卒業式は、去る三月三日、紅白の幕を張りめぐらした同校体育館で行なわれました。校長先生から三五七名の卒業生ひとりひとりに卒業証書が手渡され、頭髪も社会人なみ(?)に延びた男生徒の顔は、希望に満ちあふれていました。

遠い北のはて、北海道からの地に就職し、四年間の夜学に通いとおした定時制の女生徒。後の父兄席で、背延びしながら見守るのはその母親だろうか。目頭をおさえて座った姿に、心の底から「おめでとう」といいたい感動にかられました。

—卒業式場にて—

無理するな遠くに見えても車は速い



やったるで!!

さあ社会人だ

3・やよい

- 1日 町長選挙投票日 全国緑化運動はじまる
- 3日 ひな祭り 耳の日
- 7日 消防記念日
- 12日 入善町議会はじまる
- 15日 日本万国博開く、家庭の日
- 18日 彼岸入り
- 21日 春分の日
- 22日 NHK放送記念日
- 25日 電気記念日
- 28日 苗木即売会

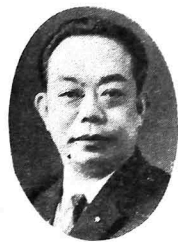
入善高校卒業式

三月三日

人口	28,183
(男 13,213 女 14,970)	
世帯数	6,537
3月1日	住民登録数

町長就任にあたって

町長 柚木栄吉



去る三月一日、私は町民の暖かい御支援によりまして、入善町政を四ヶ年間担当するよう審判を得たのであり、心から感謝申し上げるものであります。このときあたり、私は入善町の平和への道として、産業の発展そして福祉の増進のための大きな責務と使命が負荷されていることを痛感している次第であります。

本町は昭和二十八年に合併以来十八年目を迎えますが、合併当時の入善町勢と現町勢を比較するに、今昔の感新たなものがあつ、その間、町の発展のためにたゆまぬ努力をされた町民各位に対し、敬意を表するものがあります。私は、この間の変遷を十分に検討して、今こそ大入善町の飛躍するビジョン、すなわち、将来への総合発展計画を樹立するための、計画町政による前向きの地方自治を期したい所存であります。その計画町政の基本構想としては、住民の経済発展のための基盤の確立、人造りへの積極策と、平和な町づくりの福祉施策が柱かと存するものであります。当面する町の問題としては、農業面でば米の生産調整の問題、漁業では沿岸漁業の不振、中小商工業の経営のあり方、林業振興の基である道路の問題、本町への工場誘致の問題をはじめ、住民を水魔から、あるいは浪魔からの攻を防ぐための大きな対策こそ緊急問題であり、焦眉の急務でもあります。

また数多くの事業をかゝえる本町の事態を慎重に検討しまして、本町の財政力の推移と能力をならみ合せ、極力解決のため取り組みたいと思つます。勿論これには町議会の意見を充分に

尊重しながら進めるものであります。また、今後は広域行政による住民サービスの効率化と、一町村の力でできない問題の処理については、近隣市町と協調しながら促進したいと念じております。

町職員についても、住民全体の奉仕者である心構えを再認識させまして、親切、丁寧な町民への接遇を基本として、町行政の向上を計りたいと存するものであります。あらゆる面で町民が住みやすく、そして、平和な町造りに全身を打ち込みたいと念願しておりますので、町民各位のご協力を切にお願ひ申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。

町長選挙は、二月二十二日の告示と同時に、うわさされた四人が立候補し、一週間の激しい選挙戦の火ぶたを切りました。今度の選挙は、山積みされた大きな問題や事業を前にして、四人の候補者の中から、町長としての最適任者を選ぶということで、町政と選挙への関心は次第に高まり、雪となつた終盤戦では、泣き

町長選挙

投票率は86%

最高は青木・最低は飯野第二

叫ぶような運動員の声、運動の制限時間である午後八時ぎりぎりまで、街中に流れていました。

投票は三月一日、町内十一ヶ所で行なわれ、小雪の舞う悪天候にもかかわらず、男八・三二九パーセント、女八八・二九六パーセント、全体では八六・〇〇(前回七七・八四)パーセントという高い投票率を記録しました。

た。投票区別では、昨年の町議選に引き続き青木投票区がトップで、男八七・〇六パーセント、女九三・〇六パーセント、全体でも九〇・二二パーセントを記録、最低は飯野第二投票区で、以前に大量の選挙違反者を出した小摺戸地区は、男の投票率では七六・〇三パーセントという町内最低を記録しました。

午後七時三十分から始まった開票では、最初から米沢、柚木両氏の戦いとなり、新人の柚木氏が、元県議の実績と若さを買われ、現町長の米沢氏に五九五票の差をつけ、町村合併以来四人目の町長にきまりました。

▽投票結果

当 柚木栄吉 六、九四五票
次 米沢甚吾 六、三五〇票
中林佐一郎 二、〇八三票
拍原三郎 一、〇一三票
有効投票 一六、三九一票
無効投票 四五票

町長選挙投票率等調べ

投票区名	選挙当日有権者			投票率		
	男	女	計	男	女	計
入善	2,007	2,496	4,503	86.80	91.91	89.63
上原	937	1,105	2,042	83.67	88.33	86.19
青木	649	720	1,369	87.06	93.06	90.21
飯野第1	834	985	1,819	80.82	84.47	82.79
飯野第2	787	891	1,678	78.65	80.92	79.86
小摺戸	584	660	1,244	76.03	84.55	80.55
新屋	795	906	1,701	83.90	88.85	86.54
柵山	568	647	1,215	89.08	88.10	88.56
横山	684	813	1,497	78.36	89.91	84.64
舟見	588	714	1,302	82.31	88.10	85.48
野中	341	404	745	84.16	85.15	84.70
計	8,774	10,341	19,115	83.29	88.29	86.00

柚木町長初登庁のあいさつ

活気のある町に

柚木新町長は五日午前九時過ぎ、町職員の拍手に迎えられて初登庁しました。一週間の選挙戦ですっかり日焼けした顔をほころばしながら、職員の一ひとり握手を交す姿にも、みなぎる若さとハンチがあふれ、印象的な一場面でした。

このあと、議場での職員に対する就任のあいさつでは、「みなさんや町民のご支援により、町長に当選させていただきましたが、その喜びと、責任の重大さをかみしめています。

私は人を信頼する性分ですから、与えられた職務は責任をもって進めたい。また、町民には親切、丁寧に接して、下級会長の意見を十分に尊重し、町政を計画的に推進するつもりです。

当町の過疎現象は、町の衰微を意味するものであり、広域行政と併せて、活気のある町にしたいと思つます。」と述べました。



町職員に「よろしく」と握手を交す柚木町長

『社会の敵』



交通専故を絶滅しよう

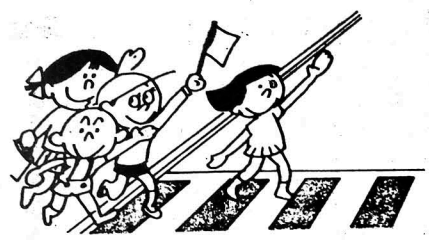
四月六日(十五日) 春の交通安全運動

激増を続ける交通事故を防止するため、今年も四月六日から十五日までの十日間、春の交通安全運動が実施されることになりました。

◎正しい横断の励行と、横断中の歩行者の保護の徹底

- (一)横断は必ず横断歩道で
- (二)信号をよく見て、左右の安全を確かめてから渡る
- (三)はずれ横断、ななめ横断、黄信号での飛び出しをしない
- (四)横断歩道のない所での横断は、車のきれ間をよく見て渡る
- (五)横断中の歩行の速度は同じにし、急なかけ出し、あと戻りは危険だからしない
- (六)横断は必ず手をあげて渡る
- (七)歩行者が横断歩道を横断中または横断しようとしているときは、車は必ず停止線以前で一時的停止をする
- (八)横断歩道手前三十メートルの追い越し、追い抜きをしない
- (九)横断中の子ども、老人、障害者のあるときは、車は特に注意し、周囲の人は安全に誘導しましょう
- (十)人家の密集地帯、学校、保育所の付近では、危険をいつでも避けられよう、安全速度で運転する
- (十一)飲酒運転の追放
- (十二)行楽地や飲酒が予想されるところには車を運転していかない
- (十三)上がり酒を飲んでから、夜中の用向きには車を運転していかない
- (十四)道路交通法の改正案では、少量の飲酒運転も禁止されており、これ位飲んでも大丈夫ということば許されな

横断は左右を確認 片手を上げて



- (一)老人に対する家庭の配慮と一般人も一声呼びかけを行なう。
- (二)子どもと老人をいたわる安全運転を行なう

万博見学は 交通事故のないよう

日本万国博覧会は、この十五日から一般に公開され、日本、いや世界の各国から、大勢の人たちが見学に訪れるものと思われ、大変な交通ラッシュが予想されます。たいいていの交差点には信号機がつけられており、交通の混滞を防止する仕組みになっておりますが、この信号機について、今一度考えを新たにしましょう。

意せよ

赤色は「とまれ」
青色は「とおれ」です
先月号でもお知らせしました
が、自家用車自動車での万博見学は、駐車場が少ないのと、長途の運転による疲労で、事故を起こしやすくなりますから、バスか汽車の利用をおすすめいたします。

国民年金

保険料の納め忘れはありませんか



毎月の保険料が あなたの将来を 守ります

花を買うときの注意



わたしたちが、花屋さんのお店先で花を買うとき知っておかなければならない、いくつかの知識があります。

同じ種類の一本の花でも、値段が、まちまちであったりすることもあります。こんなときにはその花を使う場所とか、時間的なことも考えあわせ選ぶことが必要です。

同じ花であるのに、どうして値段が違うのでしょうか。その違いは花の鮮度によるともいえます。生産地から届いた直送ものは鮮度も良いし、値段が高くても長持ちします。値段の安いものは、二、三日前に仕入れられ、それだけ鮮度も落ちているということもいえます。一日か二日だけの飾りのために選ぶのなら、こうした花でも十分ですが、長く飾って楽しむ状態を考えると、少し高価であっても鮮度のよい花の方が、結果的には得だといえます。

花の鮮度を見る時には、花の開きぐあいを見ます。開ききった花が寿命の短いことはいうまでもありませんが、開きかけている花とか、つぼみのほころびかけている花は、いちばん新鮮なものだといえます。しかしあまりつぼみの固いものは避けたほうがいいでしょう。

花屋に並んでいる花は、一応水揚げをしてありますが、家まで持って帰るうち、しおれてしまふ場合があります。それをそのままささないで、バケツなどに水をたっぷり入れて、深水中で切りなおして、二、三十分間つけておいて、水が揚がってからさすことが必要です。

永井さんらに町長賞

買物 じょうずを競う



今年度の入善町料理コンクールは、去る二月十八日、入善町農業センターで行なわれ、五十数名の婦人が参加して腕を競いました。

この料理コンクールは、栄養改善の良事例や結果を発表しあい、知識や技術の向上につとめると共に、家庭における食生活の合理化をはかるために行なわれていゝるものです。

今回は、夕食の副食三人分を百八十円以内(調味料代除く)で作ることとして、教育委員会側からは藤井課長、栄養士ら五

名、普及所側からは新村課長、西村、宇田両技師、農政課からは盛田技師、保健所からは吉田栄養士の計十名が審査にあたりました。第一次審査では、買入れた材料と献立表を見て、買物のし方、分量、金額、鮮度、組合せ、夕食の副食としての適格性等について審査し、買物上手な八名の主婦を選びました。午後からは第一次審査にパスした八名が、それぞれの献立表をもとに調理にうつりました。第二次審査はその調理法や器具の取扱いにもチェックされ、出



ゼッケンをつけて腕を競う主婦たち

来上がった料理を試食しながら味つけ、盛合せ、栄養のバランスに至るまで細かく評価して、優秀な三名を選びました。審査にあたった吉田栄養士からは、百八十円という限られた金額で、最大の効果をあげようという努力の跡がみられ、レバー、鯨肉、スキムミルクなどを取り入れたりして、その調理法も完全に自分のものになっているのに感心しました。今後も、食生活の改善、工夫に一段と努力して下さいとの講評があり、優秀だった次の八名を表彰して、有意義のうちに終りました。

▽町長賞

- 永井はるえ(新屋)
- 島田 俊子(板屋)
- 田又 静子(荒又)

▽教育委員会賞

- 藤田明和子(新屋)
- 南保リツコ(桑畑)
- 上田ハツイ(入膳)
- 南保富美子(板屋)
- 野沢 久枝(神林)

給食のおばさん

入善小学校五年 田中 淳

一月二十五日の日曜日のことである。母は、その日は入善中学校の直直なので、家には朝から夕方までいない日である。父も風近くどこかへ外出して行った。それで、家にいる者は、僕と赤丸坊と、祖父と祖母だけだった。

さて、風になったので風食にしようと思ひ、祖母にたのみに行ったが、祖母は相変わらず赤丸坊の子守をしている。それに、祖母は朝からの労働で疲れているので、無理やり調理をしると言うわけにはいかない。仕方がないので、僕が簡単なものを作ることにした。

祖父には「ご飯と大きな魚を差し出し、祖母にはラーメンを作ったあげた。作りながら僕は、祖母は、僕の作ったラーメンを食べてくれるだろうか……と言ふ心でいつばいになっていた。後になって、祖母のラーメンの



青木小五年 野沢 智明

いしかったよ」と、ひとこと言っけられた。こんなことは、他人にとつては非常に馬鹿氣なことかも知れないが、僕にとつては、祖母にラーメンを喜んで食べてもらえただけでもうれいのだ。このようなことが、学校給食の場合にも当てはまるだろう。僕が給食のおばさんで、僕の祖母が僕達生徒に当てはまる。給

食のおばさんは、一生けん命給食を作る。この時のおばさんの心は、みんな、この給食を喜んで食べてくれるだろうか——と言ふ気持ちでいっぱいなのになが、もし僕達が、おばさん達の作った給食を残すと、おばさん達は悲観するだろう。その反対に、僕達が残さず給食を食べると、おばさん達は喜ぶだろう。こんなことをくり返していながら給食のおばさん達は、僕達に何を食べさせれば、僕達が喜んでくれて、しかも栄養があるかということがなやみの種だろう。おばさん達には失礼だが、しまいに神経質になるかもしれない。

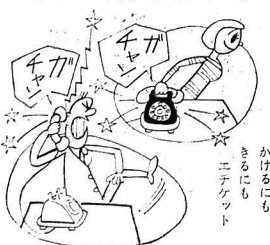
僕達はぶつう、「すききらいをする」と、栄養がかたよつてしまふ」と言う位にしか考えていないのかもしれない。いわば、僕達は自分のこと位しか考えないで、給食を作ってくれた人々の苦勞は、余り考えていないのかもしれない。だから、すききらいを平気でやっているのだ。これからは、給食を作つてく

電話機の 移転は早めに

新築やお店の模様替えなどで電話機を移転なさるときは、十日ぐらい前にお早めにお申し出下さい。

入善電報電話局 (七二一〇〇〇)

電話のかけかたをもっと上手に



高波災害募金

協力ありがとうございました

いざいきました

入善町社会福祉協議会

みなさんから寄せいただいた
ました高波災害募金は二月十七
日現在で五十万八千四百五十円
となり、入善町善意銀行からは
十五万八千五百五十円を繰出し
七十四万七千円として、負傷者
や被災世帯に対し、次のように
配分しました。

●住家

- ・半壊 5戸 一万一千円
- ・一部破損 4戸 五千五百円
- ・床上浸水 45戸 四千五百円
- ・床下浸水 85戸 二千三百円
- 非住家
- ・全壊 36戸 四千元
- ・半壊 33戸 二千元
- 漁船破損 17隻 三千元

●負傷者

- ・重傷 2人 二千元
- ・軽傷 7人 一千元

※救援物資については、災害の
程度によりそれぞれ配分しま
した。



お知らせ

海水の入った水田の

塩害対策を……

このたびの高波で、冠水した
水田の塩害が心配されます。こ
れは、土壌水分中の塩素濃度が
○・一パーセント以上あれば、
水稲に被害を及ぼすといわれて
いるもので、春日、吉原、神子
沢地区の測定値からすれば、除
塩対策の必要があります。
○塩素分析結果

採土地点 土壌水分中の
塩素量(%)

- ・春日 〇・四七
- ・吉原 〇・四七
- ・神子沢 一・七一
- ・〃 〇・五二
- ・〃 一・九三

○除塩方法
・灌漑用水によるかけ流し、
・耕起、灌水、排水の繰返し
これらの方法をもって稲作
に被害のない○・一パーセント
以下にするよう望まれます。

高波見舞金品

ありがとうございました

市部	10,000円	市長	2本
山県	5,000円	長	2本
富山	50,000円	志	3本
石川	10,000円	支	2本
福井	30,000円	社	5本
滋賀	20,000円	部	清酒
長野		本	2本
山梨		本	2本
長野		本	3本
新潟		本	2本
富山		本	5本
石川		本	3,000円
福井		本	相当
滋賀		本	タオル 300本
長野		本	毛布 3枚
山梨		本	石ケン
長野		本	175箱
新潟		本	タオル 131
富山		本	袋 雑布15枚

誤配達された
郵便物について
表札は必ず掛けよう

郵便局では、誤配達の防止に
十分注意を払ってはおります
が、なにぶんにも多数のことゆ
え、転居しても郵便局に届出が
なされていないかつり、表札や
アパートの室番
号の表示が明確
でなかつたり、
あるいは配達員
の不注意等のた
め、正確な宛所
以外のあるところ
に配達されるもの
もあります。こ
のように間違
の郵便物を受け
た方は、ご迷惑
でも、なるべく早くその旨を表
示してポストに投函するか、ま
たは、近くの郵便局の窓口へ提
出願います。
また、誤つてこの郵便物の封

苗木即売会

三月二十八日

- ・午前九時～午後三時
- ・入善町中央公民館前
- 庭園樹、花木、果樹、
- 草花、盆栽など



あたたかいご芳志を感謝いたします

入善町善意銀行

現金の部 (敬称省略) 2月1日～28日

預託(寄附)	内	容
入膳 山本正勝	5,000円	社会事業資金として毎月
新屋 永井勇松	2,000円	謝礼金を寄附
東洋紡社宅 波谷博紀	463円	1円玉にて
吉原 浜西与吉	4,000円	もらった災害見舞金を寄附
横山 板沢幸作	4,000円	〃
青島 平柳浅次郎	1,000円	拾得金を寄附
青木 森下倉吉郎	500円	〃
若栗新 若島友衛	1,000円	水害見舞金として某宅へ指定寄附
〃	1,000円	ピアフラ義援金日赤へ指定寄附
吉原 大野栄作	5,000円	吉原老人クラブへ指定寄附
上原小学校児童会	800円	飯野小児童会へ指定寄附
計 11件	24,763円	

物品の部

小摺戸 青家 キヨ	座布団 5枚	高波被災者へ指定寄附
東洋紡社宅 山浦忠五郎	衣類 9点	〃
砺波市 匿 名	〃 40点	〃
計 3件		

門山交差点に押しボタン式
信号機がつけられました

納め忘れはありませんか

今年度の納税は三月三十一日までです

家庭裁判所だより

非行化しやすい

卒業期の少年

職場での適切な指導を

今年もまた、中学、高校の卒業期が近づいてきましたが、そのうち就職する少年たちは、初めて実社会の荒波の中へ乗り出していくわけで、それだけに、この時期の少年の生活指導が問題となります。

卒業期の少年たちは心理的に動揺しやすく、生活の変化が、精神や行動面に少なからぬ影響を与えがちです。特に、就職する少年には、学校生活が終った解放感も手伝って、とかく良くない方向へ走るおそれがあります。

このような事態を防ぐには、就職をめぐる問題については少年と十分話し合い、少年たちが持ちがちな不満や不安に対処でき、しっかりと心構えを持たせておくことが肝要です。また、就職した職場での指導もたいせつで、雇主や職場の先輩がとめて少年たちとふれあい、少年たちの気持を理解し、仕事のことや余暇の過ごし方にも気を配るなどして、一日も早く環境にとけこませ、自主性をもった健全な社会人に育つよう努めてほしいものです。



家庭裁判所では、非行化した

一家平泰



少年には愛情と理解の精神で、少年の将来を明るくする努力をしています。が、一般の皆さんの暖かい理解と協力をお示し下さい。

ダイヤルはメモを見ながら正確に



おめでた (出生)



おくやみ (死亡)

Table with columns for birth (おめでた) and death (おくやみ) records, listing names and ages.

Table with columns for birth (おめでた) and death (おくやみ) records, listing names and ages.

新着図書

- List of new books including '今日出海外話集', '秘鏡探検シリーズ', '日本政治裁判録', etc.

- List of books including '第二次世界大戦前夜', '現代日本の民主主義', '陶磁の道', etc.